

「乳癌取扱規約第 18 版に基づいた乳房 Paget 病の検討」

ご協力をお願い

今回、当院では、乳癌取扱規約第 17 版で Paget 病と定義される患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させて頂きたいと考えています。

研究の目的

Pagetoid 癌は浸潤がんでその予後は Paget 病と比較し悪い傾向にあります。しかし、2018 年まで Pagetoid 癌と Paget 病は明確に区別されていませんでした。そのため、Paget 病と Pagetoid 癌との区別を行った上で治療方針を決定することの重要性を調べたいと考えました。今回、Paget 病と Pagetoid 癌の症例について画像検査の結果、治療法や予後を比較・検討することで、Pagetoid 癌の診断を早期に行い治療へとつなげることができると考え研究を行います。

研究の方法

・対象となる患者様について

2009 年 4 月～2023 年 12 月に Paget 病と診断され当院にて治療されている患者様を対象とします。

・研究期間について

倫理審査委員会承認日～2025 年 12 月 31 日とします。

・方法について

上記対象となる方の診療録より情報収集し、乳癌取扱規約第 17 版で Paget 病と定義される症例について、画像検査の所や組織学的な特徴、治療方法と予後の比較と検討を行います。

・研究に用いる試料・情報について

性、年齢、疾患関連情報（超音波検査、マンモグラフィー検査、MRI 検査、病理組織学的検査、治療歴、術式など）、周術期治療、観察期間と再発の有無についてなどです。

・資料の管理について

情報は全て匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。本研究では、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者様への利益も不利益も生じません。本研究の参加に関しては、本揭示をもって文書同意に代えますが、ご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までご連絡ください。その場合でも患者様に不利益が生じることは一切ありません。この研究計画についてご質問などがある場合は下記までご連絡ください。

連絡先 京都第一赤十字病院 乳腺外科 糸井 尚子、大橋 まひろ、三木 春奈
電話 075-561-1121（代）